

令和4年度第2回蕨市総合教育会議 議事録

1. 日 時 令和5年2月7日（火） 午後3時～午後4時

2. 会 場 WEBによるリモート会議

3. 出席者（敬称略）

市 長：頼高 英雄

教育長：松本 隆男

委 員：萩原 敏行、尾方 香里

事務局：【市長部局】佐藤 慎也（理事）、阿部 泰洋（総務部長）、松永 祐希（商工生活室長）、佐藤 則之（政策企画室長）、島田 雅也（政策企画室主幹）、小泉 卓也（安全安心推進課自治安全係長）、石黒 沙織（政策企画室主査）、市川 翔太（政策企画室主査）、高木 勇輔（政策企画室主事）

【教育部局】渡部 幸代（教育部長）、小山 晃弘（教育部次長学校教育課長事務取扱）、加納 克彦（教育部次長生涯学習スポーツ課長事務取扱）、石丸 岳 広（教育部副参事給食センター所長事務取扱）、田中 昌継（教育総務課長）、佐藤 昌史（図書館長）、瀬口 正浩（教育総務課庶務係長）、松永 由美子（学校教育課指導係長）

4. 内 容

1 開会

【阿部総務部長】

ただいまから、令和4年度第2回蕨市総合教育会議を開会いたします。なお、本日は小島委員が都合によりご欠席と伺っております。

2 あいさつ

【阿部総務部長】

はじめに、頼高市長からごあいさつをお願いいたします。

【頼高市長】

皆さまこんにちは。本日は、たいへんお忙しいなか、令和4年度第2回蕨市総合教育会議にご出席いただきありがとうございます。また、委員の皆様には日頃から蕨の教育行政の推進、子どもたちの健やかな成長に向けて大変ご尽力いた

だいておりますことに、市長として感謝申し上げます。

さて、コロナ禍が3年を超える状況となって参りました。蕨市では引き続き、感染対策としてワクチン接種、抗原検査キットの無料配布事業および市立病院を中心とする発熱外来などのコロナ対応に全力をあげております。また、去年はコロナ禍に加え物価高騰の影響もあり、新型コロナ緊急対策第7弾として、2学期の学校給食の食材購入費から補助を実施し、さらに昨年12月からは「織りなすクーポン」事業を行うなどの対策に取り組んでいるところです。

こうした中、各学校においては先生方、保護者の皆さまのご協力のもと、感染対策を講じながら、子どもたちが豊かな学校生活を送れるようご尽力いただいておりますことに、お礼申し上げます。コロナ前の状況には戻っていませんが、学校行事等について、徐々に以前の状態に戻りつつあるものも増えていると思います。去年の秋に、中学校の合唱祭が3年ぶりに開催され、私も鑑賞させていただきました。中学校3年生にとっては、最初で最後の合唱祭ということもあり、一生懸命歌っている姿を見て、子どもたちにとっては、ひとつひとつの行事が、かけがえのないものであると改めて感じました。また、先日蕨駅で、第一中学校の生徒がスキー林間学校に元気に出発していくところを見かけました。去年は急遽中止になってしまった学校もありましたが、こういったイベントのキャンセル料についても、市で負担するなど対応をしております。このような状況でも、子どもたちにとって貴重な行事が、徐々に行われるようになったことはとてもいいことであると考えています。

さて、本日は今年度2回目の総合教育会議ということで、新年度の教育の施策等を中心にご議論いただきます。担当からも説明がございますが、蕨市では現在、学校体育館へのエアコン設置を順次進めております。令和3年度に中学校の設置が完了し、今年度は小学校2校に設置、さらに令和5年度は東小学校および南小学校での設置工事を行い、令和6年度以降の設置に向け、残り3校の設計委託を行う予定です。

また、現在、一人1台の端末を配布し、学校でのICT教育に活用していただいておりますが、新たな施策として、端末の中で学習ドリルができるデジタルドリルの導入についても検討しております。さらに、漫画「さよなら私のクラマー」と連携し、アニメの聖地や、WEリーグ女子サッカーを応援するまちとしての取り組みを進めております。先日、クラマーカップという小学生の女子サッカー大会が行われ、蕨市としては参加できませんでしたが、新年度は女子サッカー教室も行い、理想としては、こういった大会に蕨市の子どもたちが参加できるようになればと考えております。

その他で報告があるかと思いますが、物価高騰はまだまだ厳しく、今月の値上げ品目が5,000品目を超えるとも報道されております。先日、記者会見でも

発表しましたが、新型コロナ緊急対策第8弾として小中学生、幼稚園・保育園児も含めた給食費について、4～7月までの4か月分無償化を実施することで準備を進めております。これは、蕨の公立小中学校に通う児童・生徒のみでなく、私立や市外の学校に通う子どもも給食費相当額を支援する形で、すべての子どもが実質4か月分無償となる取り組みであり、子育て世代・教育世代を応援してまいります。

最後になりますが、本日の総合教育会議が有意義な会議となるよう委員の皆さまのご協力をお願い申し上げまして、冒頭の挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

3 議題

【阿部総務部長】

ありがとうございました。それでは、要領第3条の規定に基づきまして、会議の議長を頼高市長にお願いさせていただきます。

市長、よろしく願いいたします。

【頼高市長】

はじめに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、総合教育会議は公開することとなっておりますが、本日の会議に傍聴の希望者はいらっしゃいますか。

【阿部総務部長】

本日は、傍聴希望者はありません。

(1) 令和5年度教育事業の概要(案)について

【頼高市長】

それでは、会議次第に基づきまして、会議を進行いたします。議題(1)の「令和5年度教育事業の概要(案)」についての説明を事務局よりお願いします。

【田中教育総務課長】

令和5年度教育事業の概要案について、ご説明させていただきます。資料1、蕨市教育大綱の抜粋を御覧ください。

教育の目標や施策の根本的な方針である大綱は、教育基本法第17条に基づき定めるものとされており、蕨市教育大綱は、第2期蕨市教育振興基本計画において、蕨市の教育の目指す姿として掲げる基本理念、基本方針、基本目標を骨子として構成しております。

令和5年度教育事業の概要案は、この蕨市教育大綱を基に、基本目標に掲げる「①学びあい高めあう学校教育の充実」、「②生涯学習を支える社会教育の充実」、「③どこでもだれもが親しめる生涯スポーツの充実」の各分野において実施する16事業でございます。

各事業内容の説明につきましては、それぞれ基本目標ごとに担当課からご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

1 少人数学級推進事業（35人程度学級）

【小山教育部次長】

予算額は582万8,000円です。令和5年度は、塚越小学校に1名の市費教員の配置を予定しております。

国・県では、令和3年度から令和7年度まで、5年かけて小学校の学級編制の標準を2年生から順次35人に引き下げることとなっております。蕨市においては、市独自の35人程度学級実施により、5・6年生においても少人数での学習指導・生活指導を行います。

低学年からの円滑な引き継ぎを行うとともに、一人一人の児童への、きめ細かな支援の充実を図るものでございます。少人数学級の目的は、学級編制を少人数化することにより、学級担任の目が行き届いたきめ細かな教育指導を実施することにあります。教師が一人一人の児童としっかりと向き合い、保護者に対しても丁寧に対応ができています。

2 教育センターの効果的な運用

【小山教育部次長】

予算額は1,607万4,000円です。令和5年度についても参集形式だけでなく、オンラインも活用し、効果的な各教科等主任会を進めて参ります。また、センターに整備されているICT機器を活用しながら、次年度も継続してICT活用指導力向上ワーキンググループ会議やALT研修等、ICT機器を活用しながら効果的な研修を推進して参ります。

3 学校におけるICTの効果的な活用（ICT支援員の配置）

【小山教育部次長】

予算額は990万円です。令和4年度に引き続き、ICT支援員を1名配置いたします。

ICTに係る教材作成支援、教員や児童生徒への端末操作支援をはじめ、校内研修の企画・運営支援、また、教職員ポータルサイトを活用した研修動画の提供や、効果的な授業活用事例の紹介等をとおして、各校でのICT機器の活用が積極的

かつ、効果的に進むよう、支援してまいります。教員の ICT 活用能力は年々向上しており、児童生徒も端末に触れる度にその活用能力が向上しております。

令和5年度も引き続き ICT 支援員を配置し、児童生徒の「情報活用能力」の向上を図ってまいります。

4 ALTや英語4技能テストを活用した外国語教育

【小山教育部次長】

予算額は4,216万9,000円です。令和4年度に引き続き、市内全小中学校に1名ずつALTを配置いたします。

ALTを効果的に活用した授業や教材開発、「パフォーマンステスト」の実施をとおして、児童生徒の学習の習熟度を適切に把握し、個々の学習改善や教職員の指導改善を図ってまいります。

またこの他、中学校2年生及び3年生を対象として、英語4技能テストであるGTECを引き続き実施いたします。

なお、令和4年度の蕨市立中学校3校のGTECの結果につきましては、いわゆる英検3級程度の力をもっている生徒の割合は、市全体としては、62.4%でした。57.8%だった昨年度に引き続き、国が目標としている50%を大きく上回る数字となりました。これは、蕨市のこれまでの外国語教育における成果であると認識しております。

令和5年度につきましても、GTECの実施、及びGIGAスクール端末を活用した外国語学習、またテスト結果の詳細な分析に基づく教職員研修を組み合わせ、PDCAサイクルを回しながら、生徒の外国語活用能力の一層の向上を図って参りたいと考えております。

5 通級指導教室の増室（発達障害・情緒障害通級指導教室）

【小山教育部次長】

現在、南小学校に1教室、「発達障害・情緒障害通級指導教室」を設置しておりますが、令和5年度は入室希望者が多くなることから、県に加配教員を申請しましたところ、更に1名の加配が認められたことに伴い、南小学校に既存の教室を活用し、新たに1教室増設いたします。

このことにより、年度当初から入室希望者が全員通室することが可能となります。更に年度途中からの入室希望にも応えられる見込みです。学習や集団活動を苦手とする児童生徒に対し、よりよい学校生活を送ることができるよう、その充実を図って参ります。

6 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置

【小山教育部次長】

予算額は698万8,000円です。令和4年度に引き続き、令和5年度当初から蕨市立全小中学校に教員業務支援員を配置いたします。「会議資料及び学習用プリントの印刷、採点業務補助、来客・電話対応」等、主に教職員の働き方改革に資するための業務を行っており、これまでも教員の業務軽減に大きな役割を果たしていると大変好評をいただいております。令和5年度につきましても、1日5時間、年間130日間の勤務を予定しております。

7 水泳指導民間委託

【小山教育部次長】

予算額は530万8,000円です。小中学校の水泳授業ではこれまでも天候の影響を受けておりましたが、近年では猛暑により授業を実施できないこともあり、児童生徒の安全を確保し、計画的に授業を実施することが課題となっております。

そのため、令和5年度には民間施設を活用した民間委託方式での水泳授業を小学校1校にて検証実施いたします。民間委託でのメリットとして、先に申し上げた課題を解決できる他、児童生徒の泳力の向上が期待できることや、施設維持管理に係る教員の負担を軽減できることが挙げられます。検証実施での取り組みを踏まえ、今後の学校プール施設の方針について検討してまいります。

8 デジタル教材整備・活用事業

【小山教育部次長】

予算額は819万8,000円です。児童生徒一人一人に応じた学びを提供するため、全児童生徒にデジタルドリルを整備いたします。

また、各校において、児童生徒一人一人の学習状況や学習進度に合った出題による知識・技能の効果的習得・定着や、児童生徒の習熟の度合いを含めた学習状況の把握による、指導の個別最適化を図ることができるよう、デジタルドリルの効果的な活用を図ってまいります。

この他、不登校児童生徒への学びの保障や、プリントの作成・配布・回収・採点等に係る教職員の業務の軽減等、学校におけるデジタル教材の効果的な活用を促進してまいりたいと考えております。

9 学校体育館エアコン整備事業

【田中教育総務課長】

予算額は1億2,336万5,000円です。教育委員会では、近年の猛暑対策として、学校における教育環境の向上とともに、避難所としての機能を高める

ために、令和3年度から学校体育館への空調設備の設置を進めております。

令和5年度は東小学校と南小学校で設置工事を行うほか、次年度以降の設置に向けて、西小学校、中央東小学校、塚越小学校の設計委託を行う予定としております。

10 コミュニティ・スクール事業の推進

【小山教育部次長】

予算額は18万円です。令和4年度も引き続き、東小、塚越小、東中の3校区を1校区としたコミュニティ・スクールを設置し、学校運営や学校教育活動に対して、保護者や地域の方が参画できるようにするとともに、学校の教職員の負担軽減を図ってまいりたいと考えております。

また、令和5年度からは、新たに第二中学校区の西小、北小、第二中学校の3校区を1校区として、コミュニティ・スクールを設置してまいります。

コミュニティ・スクールは年間5回開催を予定しており、令和5年度につきましても、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら実施していく予定です。内容につきましては「委嘱状交付や学校経営方針の承認」等です。

【頼高市長】

それでは、基本目標①学びあい高めあう学校教育の充実について、委員の皆さまよりご意見、ご質問がありましたらお願いします。

【萩原委員】

蕨市の教育は、大変充実していると日頃より感じております。

少人数学級推進事業について、蕨市では、全学年において35人程度学級を推進しているということで、国・県の基準に照らしても、先進的な取り組みをしており、大変素晴らしいと思います。このことが、きめ細かい子どもたちへの対応だけでなく、学校の先生方の負担軽減にも繋がってほしいと考えます。国際比較調査のデータを見ましても、日本の学校の先生方は、授業以外の業務が非常に多い状況です。ぜひ、今後も蕨市は、子どもたちの教育に先生方が尽力できるよう、授業以外の負担を軽減するための方策を進めていただければと思います。

さらに、ICTの利用に関して、蕨市は先進的だと思います。特に教育センターへのICT支援員の配置、また、蕨市には外国籍の子どもがたくさんおりますので、日本語特別支援教育支援員を配置するなどの教育センターのシステムが、先生方の負担軽減に繋がっており、それがさらに進んでいけばと思います。

【尾方委員】

今年度、何度か学校訪問をさせていただいておりますが、どの学校もクラスがまとまっており、先生方と子どもたちのコミュニケーションがよく取れているのは、少人数学級のおかげだと思います。最近、ICTを使った授業を拝見させていただきますが、子どもたちも使い方に慣れ、若い先生が増えたこともありますが、得意な先生方も増え、非常にわかりやすい授業をしている印象を受けました。例えば、算数は立体的に説明することが難しいところを、ICTを利用し、子どもたちがイメージしやすい授業を行っていました。こういった有効的な使い方が広がり、さらに教育センターなどで上手な教え方を先生方が共有することにより、効率のよい学びに繋がればと思います。

また、水泳指導の民間委託は非常に面白い試みだと思います。スイミングに通っている子どもと、そうでない子どもの泳力の差はとても大きいのが現状です。民間の指導者は非常に上手に教えてくださるので、それを活用するのはとても効果的であると考えます。保護者としては、安全面や、学校を離れ民間で指導を受けることにより、体育としての評価がどのように行われるのかという点を懸念しておりますので、今後検討していただければと思います。

【小山教育部次長】

水泳指導の民間委託につきまして、実際に、志木市と春日部市を見学しましたが、指導中も15～20名という人数制限を設けており、さらに、指導員のほかに監視員の方が必ずついてくださいますので、安全面は担保できると考えます。また、体育の授業として実施しますので、教員がプールサイドで評価等をつけることとなります。体育の授業として、先生方が評価をいたしますので、心配はないと思います。

【松本教育長】

担当からもご説明申し上げましたが、本来、暑いから水泳という感覚であったものが、暑すぎて入れないということになり、施設の老朽化も相まって、どのようにしたらいいのか模索したところです。他市での先行事例も拝見し、子どもたちが非常に楽しそうに授業を受けているという印象を持ちました。能力別に、それぞれ先生がついて指導してくださるので、ひとりひとりに合った授業となり、子どもたちにも良い影響があるのではと考えます。

【頼高市長】

私からも、1点伺います。GTECに関して、いわゆる英検3級程度の力をもっている生徒の割合が57.8%から62.4%へ改善していることはとても素晴らしいと思います。これに関して、子どもたち、先生方、保護者の受け止めや

評価等があれば教えてください。

【松永学校教育課指導係長】

GTEC は、昨年度スタートしたばかりですが、テストを受けて終わりというものではなく、受ける前の目線合わせの研修や、受けた後の結果を基に、中学校の全英語科の教諭および ALT が集まり、授業の仕方や次年度の指導方法などを活発に議論しております。このように、PDCA サイクルをしっかりと回すことができているので、今年度の結果に繋がったのではないかと考えております。今年度の結果についても、同様の会議を開くこととなっており、来年度に向けてさらに改善できるよう進めてまいります。

また、今年度の英語スピーチコンテストの中で、GTEC で良い点が取れるように頑張りたいというスピーチをしてくれた生徒がおりました。子どもたちにとって、明確な目標を持ちやすいという点もあり、良い影響があるのではないかと思います。

【頼高市長】

続きまして、基本目標②生涯学習を支える社会教育の充実について、事務局より説明をお願いします。

1 わらび電子図書館（電子図書館サービス）

【佐藤図書館長】

パソコンやスマートフォンなどで読書を楽しむことができる電子図書館サービス「わらび電子図書館」を、令和4年8月より開始いたしました。さらに、同年11月には、市内公立の小中学校児童・生徒全員にわらび電子図書館のIDを配布し、学校での朝読書等に活用されています。2月1日時点での延べ閲覧冊数は14,172冊であり、このうち56.1%の7,948冊が学校での利用となっております。

令和5年度は、引き続き、電子書籍のラインナップを取りそろえることで、サービスの充実を図っていきたいと考えております。なお、予算額は391万3,000円であり、これは電子書籍コンテンツ250冊と児童書読み放題パック300冊、DLマガジンの利用料、電子図書館クラウドの利用料、多言語対応サイト利用料の総額となっております。また、予算額は令和4年度の500万と比べて108万7,000円の減額となっておりますが、これは、令和4年度は電子図書館サービスの開始の年であり、初期導入費用や電子書籍のラインナップを取りそろえる必要があったためです。

2 わらび学校土曜塾

【加納教育部次長】

わらび学校土曜塾は市内7小学校区で、隔週土曜日の午前中、年間概ね20～30回弱くらいの取り組みをしております。児童の学習習慣の定着や学力向上などを主な目的として、各校区、地域のスタッフの方々のご協力により行っております。現在、新年度に向けて各地区での準備が始まっているところです。

本日の午前中にも、学校にお邪魔しましたが、スタッフより「過去に参加していた児童が大人になり、あいさつに来てくれました。長く続けている中で、とても嬉しい出来事でした。」と伺うことができました。

3 音楽によるまちづくり

【加納教育部次長】

令和5年度も引き続き、蕨市民音楽祭の開催や、小・中学校への音楽家の派遣、市内の音楽関連情報の発信などを実施してまいります。

4 市民や社会教育関係団体・PTA等を対象とした人権講演会の開催

【加納教育部次長】

市民や関係団体の方々を対象に、人権講演会や講座等に引き続き取り組み、人権意識の高揚を図ってまいります。

関連のものとしては、先日、元サッカー日本代表の大久保嘉人選手にご講演いただき、子どもたちにとって、非常に有意義な時間であったと感じております。

【頼高市長】

項目が少ないため、引き続き、基本目標③どこでもだれもが親しめる生涯スポーツの充実についても事務局より説明をお願いします。

1 各種イベントやスポーツ教室等の開催

【加納教育部次長】

令和4年度も、コロナ感染症の影響により実施を見送った事業がありましたが、取り組めるものは工夫をして行ってきました。新年度についても、市民ロードレース大会や市民水泳大会、体カテストや少年スポーツ教室、民間温水プールの借り上げ事業を実施し、市民の皆さまの健康づくりや体力づくりを進めてまいります。

2 女子サッカー教室の開催

【加納教育部次長】

女子サッカー応援の取り組みの一環として、女子児童を対象としたサッカー教室を開催し、将来的には大会への出場を目指し、女子サッカーの気運醸成を図ってまいります。ゴールデンウィーク明けから初夏くらいに、教室の着手ができるよう協議を始めたところでございます。

【頼高市長】

それでは、基本目標②生涯学習を支える社会教育の充実、基本目標③どこでもだれもが親しめる生涯スポーツの充実について、委員の皆さまよりご意見、ご質問がありましたらお願いします。

【萩原委員】

わらび電子図書館について、とても良い試みだと思います。児童書の読み放題パックは、導入前は人数制限等の不安がありましたが、実際には無制限に読め、人数制限もないということで、良いシステムであると感じております。

さらに、わらび学校土曜塾に関しては、蕨市の質の高い教育の下支えをしてくださっているのではないかと思います。

【尾方委員】

わらび学校土曜塾について、私も以前お手伝いをさせていただいておりました。学校の先生でもなく、親でもない第三者の大人の方に、月2回定期的に出会うことができる場であり、非常に地域に根差していると思います。コロナ禍で人数が減ったり、活動が制限されたり等、大変だと思いますが、子どもたちにとっては人生の先輩に学ぶ場であり、居場所づくりという意味でも土曜日の午前中を安心して過ごせる場であると言えます。また、自宅での勉強習慣がない子どもも、土曜塾で宿題をすることで、少しずつ家庭学習の習慣が身につくということで、多くの子どもたちに参加してもらいたいと思っております。積極的に参加して下さるご家庭もありますが、まだ浸透していないと感じており、参加してほしいと思う子どもが参加できていない状況にあると思うので、学校でも土曜塾をさらに宣伝していただき、気軽に参加できる場にしてもらいたいと考えています。

また、人権について、教育行政の重点施策の中にも、学校教育での人権教育の大切さが謳われております。最近のジェンダー問題・多文化共生問題等あらゆるものの根底にあるのが人権問題であり、人権教育の大切さを感じております。学校だけでなく、地域ぐるみの人権意識の向上が非常に重要であり、今後も積極的に取り組んでいただきたいと思います。

【松本教育長】

電子図書館については、私の想像以上に学校で利用していただき、安心しているところがございます。今後も継続して、図書に触れる時間を多くできればと思います。

わらび学校土曜塾は、現在、対象が小学生のみですが、塾長や実行委員の方々に、中学生も対象にできないかとお話をしたところ、良い反応をいただき、検討をしているところです。今後は、小学生のみでなく、中学生も含めた、子どもたちのふれあいの場にしていければと考えております。

【頼高市長】

電子図書館については、導入前に、萩原委員から学校での活用を是非とお話をいただき、このような仕組みを取り入れたことは、とても有効であったと思います。

また、蕨市では、音楽によるまちづくりを推進しておりますが、蕨市民会館が令和6年度に開館50周年を迎えるにあたり、「蕨の第九プロジェクト」が進んでおります。さらに、小・中学校への音楽家の派遣事業についても、子どもたちにとって貴重な機会となっており、音楽が、一つの蕨の新しいまちの特徴として、子どもから大人まで広がるよう、特色をもっと伸ばしていきたいと考えております。

【松本教育長】

女子サッカーの応援も含め、女子サッカーを普及していこうと考えております。児童が対象であり、小学校の協力が必要となりますので、今後、小学校と連携し、どのような形で進めていくのか検討してまいります。

【頼高市長】

資料には入っておりませんが、学校運動部活動の休日の地域移行が大きな課題となっており、現在、教育委員会で検討しているところです。体制が整えば、新年度より、新たな取り組みがはじまっていくと思います。この点に関して、本日時点で何かございますか。

【松本教育長】

令和5年度に、具体的に動き出せば良いのですが、国・県の動きが不十分なところもあり、蕨市としても最終的にどのような方向性で進めるべきか難しい状況であります。蕨市では来週、関係する方々にお集まりいただき、現在の状況を説明し、蕨市としての方向性の検討を進めていこうと考えております。

【頼高市長】

蕨市では現在、令和6年度からの10年間の新しい将来ビジョンを策定する作業を進めており、今年度は市民の皆さまの声をいろいろな形でお伺いしています。その中の一つとして、無作為で市からお声がけし、ご協力をいただけることとなった一般市民の方々にご参加いただき、市民ワークショップを5回開催し、先日提言書のご提出をいただきました。この中で、子どもたちの未来輝くまちを検討したグループから、最初に部活動の話が出てきました。自分のやりたい部活が、学校にあるとは限らない中、市全体で一緒にできれば、どの学校に通っていてもやりたい部活ができるようになるとの提言があり、現在地域移行を検討していることで、場合によっては、こういった要望に答えられる可能性もあるのではないかと考えております。

(2) その他について

【頼高市長】

次に議題の(2) その他について、事務局から何かありますか。

【佐藤政策企画室長】

政策企画室より、2点ほどご報告申し上げます。

まず、「蕨市新型コロナ・物価高騰緊急対策第8弾」について、ご報告いたします。冒頭の市長あいさつでもありましたとおり、市では、長引くコロナ禍と物価高騰から市民生活と地域経済を守るため、緊急対策第8弾を実施することといたしました。主な内容としては、1点目、市内のすべての家庭、事業所の水道基本料金の4カ月分を無料化いたします。2点目は、保育園、幼稚園、小中学校に通う市内すべての子どもの給食費について、4月から7月分、4か月分の無償化を実施いたします。3点目は、スマホ決済を活用したポイント還元事業第4弾を6月に実施する予定です。なお、還元率は20%となります。4点目は、ポスト・コロナの地域活動への支援として、町会活動の再開を後押しするため、各町会に補助を行うとともに、情報連絡や情報収集などに活用するタブレット端末を各町会に貸与いたします。最後に5点目として、次の感染拡大に備え、福祉施設や市民の方へ配布できるよう、抗原検査キットの追加備蓄を行います。

続いて、「令和5年度市長タウンミーティング」についてご報告いたします。市長タウンミーティングについては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、直近3年間は実地での開催を見送ってきましたが、来年度は、4年ぶりに実地開催いたします。

テーマといたしましては、例年どおり「令和5年度の施策・予算について」と

し、市長から皆さまに市の取り組みについてお伝えし、皆さまから市のまちづくりについてなどのご意見を伺いたいと存じます。開催日程と会場につきましては資料に記載のとおりとなりますが、変更点としては、今までの5つの公民館に加え、下蔵公民館および文化ホールくるるを新たな会場に加え、全7会場で実施いたします。また、今まで北町地区の会場は、北町公民館集会室で開催しておりましたが、感染症対策の観点から、より広い市民体育館の小体育室での開催を予定しております。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、開催方法などを変更する可能性がございますのでご了承ください。7会場での実施となりますので、教育委員の皆さまにおかれましては、ご都合のよろしい際に、是非ご参加いただければ幸いです。

【頼高市長】

そのほか、事務局からは何かありますか。

【佐藤政策企画室長】

次回の会議日程の提案でございますが、10月に開催することを提案させていただきますがいかがでしょうか。

【頼高市長】

ただいま、事務局から次回会議の開催時期について提案がありましたが、いかがでしょうか。

【一同】

異議なし。

【頼高市長】

それでは、次回の開催については10月に開催することといたします。

【佐藤政策企画室長】

最後に、本日の会議録につきましては、事務局で作成した後、皆さまにご確認をさせていただき、要領第6条の規定により公開をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【頼高市長】

以上で本日の議事を終了いたします。ありがとうございました。
それでは、進行を事務局へお返しします。

4 閉会

【阿部総務部長】

ありがとうございました。それでは、本日の会議はこれで全て終了いたしましたので、閉会とさせていただきます。